

「東日本大震災4周年 全校集会」

3月16日(月) 14:00~15:00

「忘れない!—私たちはこれからもずっと被災者の方々と共にあります—」

場所 / 盈進 第一体育館 (高校体育館)

講話：遠藤 和美 さん

2011年3月11日、宮城県岩沼市にて津波で最愛の夫を失う。2011年7月、ボランティアの本校生徒が、仮設住宅に暮らしていた遠藤さんと奇跡的に出会う。以来、生徒たちは手紙を通じて心を通わせ、現地でも直接、親睦を深めてきた。

ゲスト：山本 真帆 さん (本校OG / 慶應義塾大学2年生)

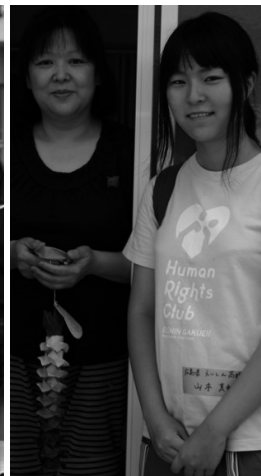
遠藤和美さんとの交流をつくったのは当時、高校2年生だった山本真帆さん。彼女が大学で中心的に学ぶ「防災学」の原点は遠藤和美さんとの出会い。今回は、山本さんも遠藤さんといっしょに集会に参加予定。



2012年7月、交流で涙に笑みをうかべる遠藤さん



2011年11月11日からつづく「被災者に思いを寄せる日」 「今日で震災から〇年〇ヶ月。改めて、被災者の方々に…」



2011年7月、遠藤さんと出合った山本さん。奇

遠藤和美さんからのお手紙

【2011年9月】・・・あの日から季節が変わっても、私の心は変わりません。亡骸を見、埋葬をすませても認めることができない夫の死。ふとしたことで思い出しては涙・・・

【2012年9月】・・・夫はまさに太陽でした。太陽がなくなったら暗闇の世界です。・・・でも、確実に言えることは、震災がなければ盈進のみなさんとも出会えなかった・・・

【2014年4月】・・・みなさんからのお手紙に、疲れが一気に吹き飛びました・・・私には「もう三年」ではなく「まだ三年」・・・毎月11日、私たちに心を寄せていただいていること・・・やさしさをありがとう。生きていることに感謝して・・・

